

令和元年度水質事故対応訓練を実施しました

群馬用水は、県央地域7市町村約6,300haの農地と8市町村約100万人の飲み水を潤す重要な施設ですが、平成20年に水路内への油が不法投棄される事態が発生し、群馬用水管理所では事態の収束に全力で取り組みました。それを契機に関係機関と連携し、油流出による水質事故を想定した訓練を毎年行っております。

<平成20年の油不法投棄の概要>

1. **発見状況**：平成20年6月17日の朝6時30分頃、赤城幹線水路内において油が流れていると連絡。
2. **対応状況**：幹線水路等にオイルフェンスを設置し、油の回収（吸着処理）、被害拡大防止、監視を実施。発生から24日後の7月11日に態勢を解除。（群馬用水土地改良区、消防等の関係機関にも協力を頂く）
3. **原因究明**：水路沿いで油が投棄された形跡が発見されたが、原因者等は不明。
4. **被害**：農業・水道において被害は発生していない。

今年度は、10月11日（金）に「群馬用水管理所」において、水資源機構、群馬用水利水関係機関、関係市町村、協力業者、NPO法人の約40名の参加を得て水質事故対応訓練を実施しました。雨天が予想されていたことから、水路での実地訓練を中止し、群馬用水管理所による訓練に変更しました。

開会のあと、水資源機構群馬用水管理所から群馬用水で平成20年に発生した事故の概要および水資源機構の保持する可搬式浄水装置の説明等を行い、またNPO法人自然エネルギー・環境協会から「油漏洩事故対策」について指導を受けました。

その後、屋外へ移動し、群馬県の県央第二水道事務所から「水質の悪化と浄水場における対応」についてご講義いただき、続いてNPO法人自然エネルギー・環境協会から「油吸着対策方法・資材等の紹介」と、オイルフェンスの連結方法、および設置に必要となるロープワークの指導を受けました。

参加・ご協力頂きました関係機関の皆様にはこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

油の流出事故があった場合には、被害の拡大防止のために迅速な対応が重要となります。水路等で油が浮いているのを見かけた際は、群馬用水管理所までご一報お願いいたします。
TEL：027-251-4266

[訓練状況：水資源機構群馬用水管理所]

① 管理所での講義

NPO 法人自然エネルギー・環境協会及び群馬用水管理所により講義を行いました。



② 群馬県県央第二水道事務所の講義

群馬県県央第二水道事務所より「水質の悪化と浄水場における対応」についてご講義頂きました。



③ 油吸着対策方法・資材等の紹介について

NPO 法人自然エネルギー・環境協会による実演を交えた講義で、油吸着対策方法や資材に関する正しい知識が身に付きました。



④ 油吸着対策方法・資材等の紹介について

NPO 法人自然エネルギー・環境協会により、油を拡散しない正しい手法について実演を交えてご講義頂きました。



⑤ オイルフェンスの連結

2本のオイルフェンスの連結を行い、組み立てる訓練を行いました。



⑥ ロープワークの練習

オイルフェンスの設置に必要な「巻き結び」と「もやい結び」の説明を受け、これを練習しました。



※ 群馬用水では、幹線水路の各所にオイルフェンス等吸着資材の配備を行っています。